

令和4年度

第2回 磐田市文化財保護審議会 報告

- 1 日時 令和5年3月15日(水) 13:30～15:00
- 2 場所 磐田市埋蔵文化財センター 2階 研修室
- 3 出席者 磐田市文化財保護審議会委員 9名
平野吾郎会長 小杉達副会長 加藤理文委員 杉山知太郎委員
鈴木敬雄委員 芹澤拙夫委員 坪井俊三委員 増田千次郎委員
中山正典委員
事務局 6名
竹内課長 神谷課長補佐 木村歴史文書館長 室内調査G長
谷口主任 森本主事

4 傍聴人 なし

5 議事

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 審議事項

①連福寺古墳出土三角縁神獣鏡の市指定文化財への指定

[事務局からの説明]

- ・市指定文化財候補の鏡が出土した連福寺古墳は、磐田原台地南縁に位置する古墳時代前期の古墳。
- ・現在、後世の開発で墳丘は残存していないが、かつて残存していた時にみられた土盛を墳丘と想定すると、50メートル以上の古墳と想定される。
- ・昭和40年に墳丘とされることから出土した。
- ・現在、資料は保存処理済みで市が保管。
- ・同範鏡に京都府椿井大塚山古墳、奈良県黒塚古墳がある。
- ・本資料が指定となれば、所有が磐田市となっている三角縁神獣鏡はすべて指定となる。

[主な質問・意見]

【杉山委員】 指定名称について、裏面に描かれている神と獣の数を反映させた「三角縁三神五獣鏡」にしなくてよいか。

→研究者によって様々な見解があるため、指定名称は古墳名をつけるのみとする。

【増田委員】 三角縁神獣鏡の鋳型の出土例は存在するのか。

→鋳型の出土例はない。

【増田委員】 鏡に年号はなかったのか。

→年号が書かれた三角縁神獣鏡も存在するが、本資料には年号は

書かれていない。

- ・「連福寺古墳出土三角縁神獣鏡」を磐田市有形文化財(考古資料)に指定する答申書が提出された。

4 報告事項

①遠江国分寺跡整備事業進捗状況

- ・ 3月末の完成に向けて工事を進めている。
- ・ 復元する木装基壇には、ガラスコートされた木材を使用。
- ・ 4月1日に現地にて完成記念見学会を開催予定。

〔主な質問・意見〕

②旧津倉家住宅主屋・土蔵の登録有形文化財（建造物）への申請登録答申。

- ・ 旧津倉家住宅主屋・応接棟・土蔵の3件で県を通じて文化庁へ登録申請提出
- ・ 3月17日に文化審議会にて答申予定。
- ・ 登録を記念して見学会を開催する予定。

③国指定史跡旧見付学校保存活用計画策定の進捗状況

- ・ 3月末を目途に文化庁への提出を目指し来年度以降、文化庁と協議していく。

④国指定史跡旧見付学校東側壁修繕

- ・ 東側壁の漆喰に損傷が認められたため修繕を行った。

⑤市指定文化財等の修繕

- ・ 「伝酒井の太鼓」の皮の張替えを行った。張替えに伴い胴裏の調査を行った。
- ・ 国の補助事業で市指定文化財1件（横町屋台）、市指定文化財候補（矢奈比賣神社所蔵の獅子頭）の修理を行った。
- ・ 市の補助事業で市指定文化財（北野天神縁起絵巻）の修理を行った。

⑥寺谷用水関係資料調査

- ・ 寺谷用水旧絵図の寄贈受け入れが完了した。
- ・ 資料が板に糊付けされた状況のため今後、板から取り外す復旧修理を行う。復旧後は、市指定文化財候補として審議事項にあげる予定。

⑦しずおか遺産「近代教育に情熱をかけたしずおか人の結晶」の認定

- ・ 今年度、静岡県で歴史文化資源の理解促進、観光活用促進のため「しずおか遺産」が創設された。
- ・ 11月に近代教育をテーマとして、旧見付学校が主要となる「近代教育に情熱をかけたしずおか人の結晶」が認定された。県内の文化財19件で構成され、市内では旧見付学校を含め9件が選ばれている。
- ・ 同じく秋葉神社（浜松市）を主要な文化財として構成する「秋葉信仰と街道」で、市内の秋葉燈籠などが選ばれている。

⑧文化財啓発事業

- ・ 令和5年4月より磐田市埋蔵文化財センターを土日開所することを説明。
- ・ 令和4年9月から令和5年3月の普及啓発事業実績を報告。

⑨文化財調査実績

- ・令和4年9月から令和5年3月に実施した有形文化財・埋蔵文化財調査実績を報告。